

平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月1日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL http://www.marusanai.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡辺邦康
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長(兼)管理担当 (氏名)堺信好 (TEL) (0564) - 27 - 3700
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年9月21日～平成29年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	7,050	7.0	263	△26.9	267	△51.3	129	△64.2
29年9月期第1四半期	6,586	4.5	360	58.4	549	148.4	362	163.8

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 139百万円(△58.6%) 29年9月期第1四半期 337百万円(144.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	56 88	—
29年9月期第1四半期	157 87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	23,907	4,205	17.5
29年9月期	23,944	4,203	17.5

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 4,187百万円 29年9月期 4,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	60 00	60 00
30年9月期	—				
30年9月期(予想)		0.00	—	30 00	30 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年9月21日～平成30年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	12,684	3.2	128	△68.4	115	△80.0	237	△34.9	103	34
通期	25,769	1.7	460	△35.2	444	△51.8	733	77.4	319	32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年9月期1Q	2,296,176株	29年9月期	2,296,176株
30年9月期1Q	14,621株	29年9月期	14,621株
30年9月期1Q	2,281,555株	29年9月期1Q	2,294,730株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年9月21日～平成29年12月20日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策を背景とした企業収益の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、国際情勢におきましては、米国の経済政策の動向や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、依然として消費者の節約志向が根強い中、価格競争の激化や製造変動費の増加など、引き続き厳しい状況が続いております。

みそ業界におきましては、近年はみそ出荷量の下げ止まりがみられるものの、国内での生みその需要減退が課題となっております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景として、料理などへの汎用性の高い無調整豆乳を中心に、順調に伸長しております。

このような環境の中で、当社は安全で安心できる製品の供給に努めるとともに、原価高騰に対して、事業の効率化やコスト削減等の利益向上対策に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、豆乳が好調に推移したため70億50百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は、運賃、水道光熱費及び子会社であるマルサンアイ鳥取株式会社の減価償却費等の製造原価の増加により2億63百万円(前年同期比26.9%減)、経常利益は、デリバティブ評価益が減少したため2億67百万円(前年同期比51.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少により1億29百万円(前年同期比64.2%減)となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. 及び海寧市裕豊醸造有限公司につきましては、持分法による投資損失3百万円を営業外費用に計上しております。

① みそ事業

調理みその売上が減少したものの、生みそ、即席みそが堅調に推移したほか、平成29年9月に発売した液状みその売上が寄与し、売上高は、13億37百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

a. 生みそ

販売単価がやや下落したものの、出荷数量が前年を上回ったため、売上高は、10億89百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

b. 調理みそ

主力である「酢みそ」、「田楽みそ」等の売上が減少したため、売上高は、82百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

c. 即席みそ

フリーズドライ製品及び「懐石仕立本場赤だし6食」が堅調に推移したため、売上高は、1億22百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

d. 液状みそ

平成29年9月に発売した鮮度みそ「香りつづくとろける味噌シリーズ」の配荷が進み、売上高は、43百万円となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳が好調に推移したため、売上高は、48億53百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

a. 豆乳

無調整豆乳、海外向け製品及び200m l タイプの製品が好調に推移し、売上高は、42億21百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

b. 飲料

「あまぎけ」が好調に推移したものの、受託製造品が減少したため、売上高は、6億32百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

なお、平成29年11月20日をもって、ブルーダイヤモンドグローブズ社との間で締結しておりました、アーモンド飲料「アーモンドブリーズ」の製造販売に関するライセンス契約を解除しております。

③ その他食品事業

商品統制により「甘酒」の売上が減少した一方、「豆乳グルト」や水煮大豆の売上が堅調に推移したため、売上高は、8億55百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料及び受取ロイヤリティーとして、売上高4百万円（前年同期比4.2%増）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、105億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、未収消費税等の減少4億42百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の増加6億2百万円等によるものであります。

固定資産は、133億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億68百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少1億81百万円、建物及び構築物の減少69百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、239億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少いたしました。

② 負債

流動負債は、163億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億15百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、短期借入金の増加6億円等があったものの、未払金の減少3億71百万円、未払法人税等の減少2億39百万円、賞与引当金の減少1億94百万円等によるものであります。

固定負債は、33億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億75百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加1億85百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、197億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。

③ 純資産

純資産合計は、42億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少7百万円、退職給付に係る調整累計額の減少4百万円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加6百万円、為替換算調整勘定の増加6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月2日に公表いたしました連結業績予想に記載された内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,693,922	2,890,592
受取手形及び売掛金	3,979,467	4,582,267
商品及び製品	790,892	873,344
仕掛品	530,752	484,315
原材料及び貯蔵品	546,209	560,183
その他	1,820,872	1,202,150
貸倒引当金	△1,595	△895
流動資産合計	10,360,521	10,591,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,393,607	5,324,316
機械装置及び運搬具(純額)	3,813,440	3,631,656
土地	3,004,916	3,004,916
その他(純額)	261,463	252,273
有形固定資産合計	12,473,428	12,213,163
無形固定資産	251,922	236,559
投資その他の資産		
投資有価証券	592,202	600,018
その他	277,457	276,970
貸倒引当金	△10,914	△10,914
投資その他の資産合計	858,746	866,074
固定資産合計	13,584,097	13,315,797
資産合計	23,944,618	23,907,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,593,905	3,553,431
短期借入金	5,650,000	6,250,000
1年内返済予定の長期借入金	2,507,645	2,486,348
未払法人税等	393,038	153,115
賞与引当金	372,369	177,594
未払金	3,684,724	3,313,480
その他	362,512	414,809
流動負債合計	16,564,196	16,348,778
固定負債		
長期借入金	1,591,184	1,777,026
退職給付に係る負債	1,209,240	1,209,727
資産除去債務	221,540	222,404
その他	155,401	144,050
固定負債合計	3,177,367	3,353,209
負債合計	19,741,564	19,701,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	629,828	629,828
利益剰余金	2,634,654	2,627,538
自己株式	△41,018	△41,018
株主資本合計	4,088,909	4,081,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,249	38,825
為替換算調整勘定	△22,592	△15,888
退職給付に係る調整累計額	87,209	82,861
その他の包括利益累計額合計	96,867	105,798
非支配株主持分	17,277	18,176
純資産合計	4,203,054	4,205,768
負債純資産合計	23,944,618	23,907,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月21日 至平成28年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月21日 至平成29年12月20日)
売上高	6,586,923	7,050,981
売上原価	4,683,396	5,159,919
売上総利益	1,903,527	1,891,062
販売費及び一般管理費	1,543,070	1,627,448
営業利益	360,456	263,614
営業外収益		
受取利息	243	257
不動産賃貸収入	3,934	3,934
持分法による投資利益	4,994	—
デリバティブ評価益	191,920	16,043
その他	6,104	5,383
営業外収益合計	207,196	25,618
営業外費用		
支払利息	6,660	8,474
シンジケートローン手数料	5,885	5,687
持分法による投資損失	—	3,674
債権売却損	3,704	3,684
その他	1,724	239
営業外費用合計	17,975	21,760
経常利益	549,677	267,472
特別利益		
固定資産売却益	—	282
特別利益合計	—	282
特別損失		
固定資産除却損	408	848
特別損失合計	408	848
税金等調整前四半期純利益	549,268	266,906
法人税等	185,842	136,229
四半期純利益	363,426	130,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,151	899
親会社株主に帰属する四半期純利益	362,275	129,777

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月21日 至平成28年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月21日 至平成29年12月20日)
四半期純利益	363,426	130,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,851	6,575
為替換算調整勘定	△2,572	5,584
退職給付に係る調整額	△4,064	△4,348
持分法適用会社に対する持分相当額	△25,559	1,118
その他の包括利益合計	△26,346	8,930
四半期包括利益	337,080	139,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,292	138,708
非支配株主に係る四半期包括利益	787	898

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年9月21日 至 平成28年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年12月15日 定時株主総会	普通株式	68,841	30.00	平成28年9月20日	平成28年12月16日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年9月21日 至 平成29年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年12月14日 定時株主総会	普通株式	136,893	60.00	平成29年9月20日	平成29年12月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年9月21日 至 平成28年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,229,508	4,499,121	854,083	6,582,712	4,210	6,586,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,229,508	4,499,121	854,083	6,582,712	4,210	6,586,923
セグメント利益	194,518	1,037,066	101,893	1,333,478	4,210	1,337,689

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,333,478
「その他」の区分の利益	4,210
全社費用(注)	△977,232
四半期連結損益計算書の営業利益	360,456

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年9月21日 至 平成29年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,337,636	4,853,768	855,189	7,046,594	4,387	7,050,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,337,636	4,853,768	855,189	7,046,594	4,387	7,050,981
セグメント利益	146,053	998,880	119,619	1,264,553	4,387	1,268,941

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,264,553
「その他」の区分の利益	4,387
全社費用(注)	△1,005,326
四半期連結損益計算書の営業利益	263,614

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(重要な後発事象)

連結子会社であるマルサンアイ鳥取株式会社は、平成29年9月期において稼働を開始した本社及び工場の建設に伴い、鳥取市から「鳥取市企業立地促進補助金」の交付が決定されました。

- | | |
|----------------|---|
| (1) 補助金交付決定通知日 | 平成30年1月5日 |
| (2) 補助金交付額 | 300百万円 |
| (3) 損益に与える影響 | 当該事象により、平成30年9月期第2四半期において、補助金収入300百万円を特別利益に計上いたします。 |